euglena Group

ユーグレナ・フィロソフィー＆今後の事業方針

株式会社ユーグレナ

東証一部（証券コード：2931）

2020年8月11日



ユーグレナ

目次

1. はじめに …… 03

2. なぜ今、変わるのか …… 10

3. “Sustainability First” が生む、競争優位性 …… 19

4. 事業の新しい姿 …… 26

5. 参考資料（SDGs達成に向けた取り組み等） …… 41

1. はじめに

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

ユーグレナは

「ミドリムシの会社」から**アップデート**します。

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

経営理念・企業ビジョン・スローガンも

無くします。

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.



ユーグレナ・フィロソフィー

Sustainability First

サステナビリティ・ファースト

ユーグレナグループの仲間全員が”自分たちの幸せが誰かの幸せと共存し続ける方法”
を常に考え、行動している状態

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

”Sustainability First” に込めた思い

Sustainability

未来志向でずっと続けていくこと

（✕ 目の前の**短期的な課題ではない**）

＋

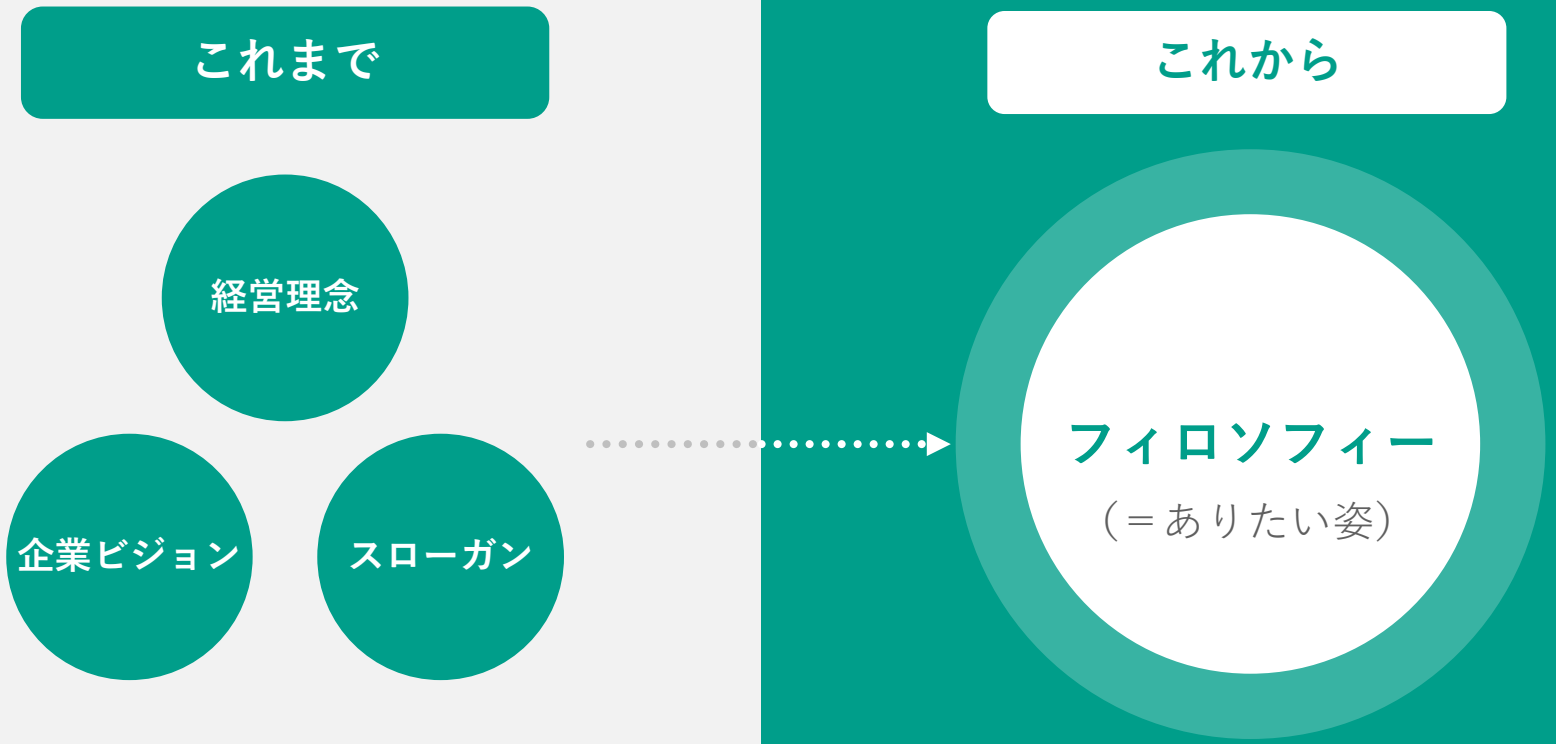
First

具体的に考え、行動している状態

（✕ 単なる**思想ではない**）

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

「フィロソフィー」一本にした目的



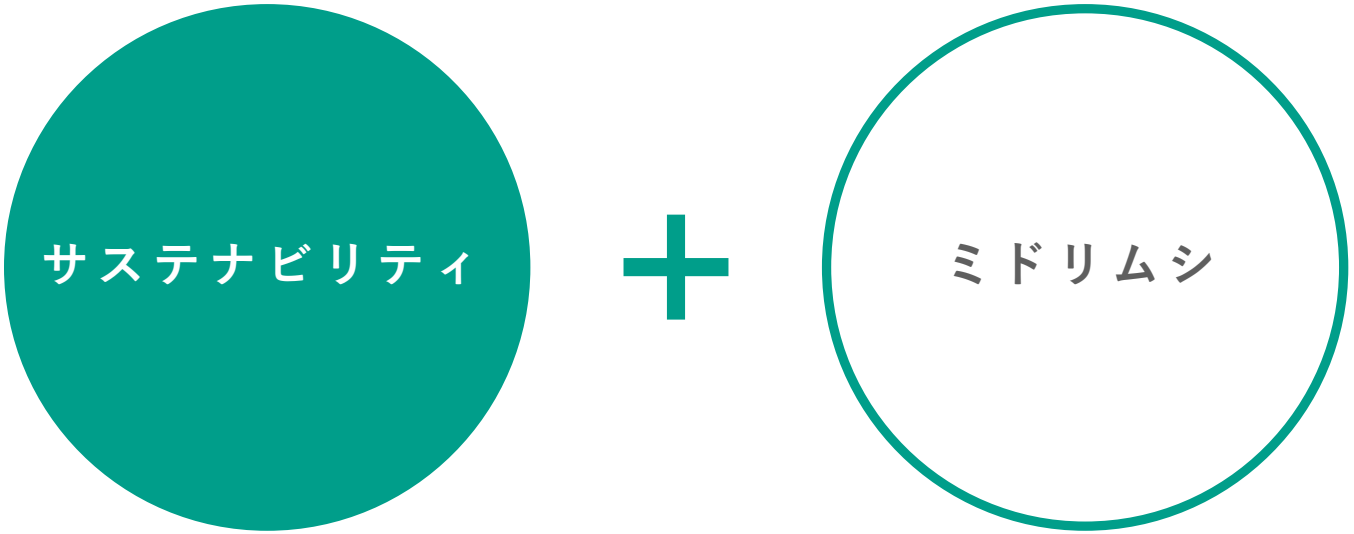
「フィロソフィー」一本化の目的

リーマンショック、コロナウイルス感染症などで世の中が大きく変わったとしても、
当社にとって変わることのないシンプルでブレない哲学を掲げることで、
事業を通した真のサステナビリティを実現する。

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

ユーグレナは次のステージへ

「ミドリムシ」から「サステナビリティ＋ミドリムシ」へ。



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

2. なぜ今、変わるのか

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.



創業時の想い

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

創業時の想い

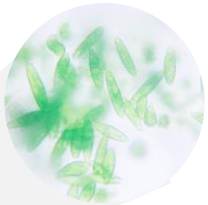


“バングラデシュで目のあたりにした
栄養失調の問題を
栄養豊富な食材で、解決したい。”

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

たどり着いた当社独自素材“ユーグレナ”

微細藻類ユーグレナ
和名：ミドリムシ



“euglena（ユーグレナ）”



❶ 豊富な栄養素

❷ バイオ燃料資源での活用

❸ 高い生産効率

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

掲げた経営理念と、2つの目標

「人と地球を健康に」という経営理念のもと、ミドリムシを通して実現したいことを2つ掲げた。



1 人を健康にする

創業時の想いである「栄養問題の解決」を実現するために、栄養豊富なミドリムシを使って人を健康にするための事業を展開。

2 地球を健康にする

研究を通して明らかになった、ミドリムシの燃料への活用可能性を進展させ「エネルギー問題の解決」を事業として展開。

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

これまでに実現した「人を健康にする」の成果

ヘルスケア事業を中心としたグループ累計売上高は140億円（2019年9月期）となり、
965万食のユーグレナクッキーの配布を中心に、貧困層の栄養問題に対しても一定の成果を実現。

売上高推移

（億円）



ユーグレナクッキー配布数

（万食）



※集計年度：対象年の4月～翌年3月まで

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

これまでに実現した「地球を健康にする」の成果

2018年10月に日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントを竣工し、
2020年3月にバイオディーゼル燃料の供給がスタート。着実に量と供給見込先を増やしている。

バイオディーゼル燃料供給量の推移



バイオ燃料供給見込先

20社以上

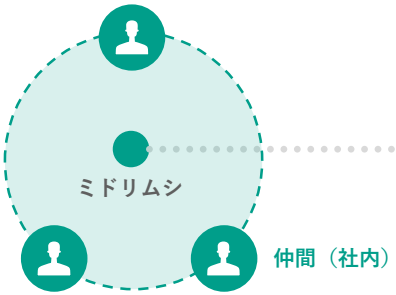
自社の実証プラントを
活用し、「バイオ燃料」
を継続的に供給

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

創業から15年間の変化

仲間やパートナーの増加と事業領域の成長により、
複雑性が増し新たな方針が必要なフェーズとなった。

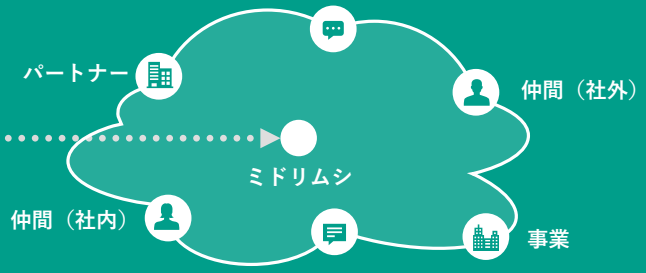
創業当初



仲間	創業者＋数名
パートナー	大学
事業領域	2つ

現在

（様々なステークホルダーが関与していることで複雑に）



新たな方針が必要なフェーズ

仲間	社内・外大勢の仲間	増加
パートナー	大学・国連・ 政府・大企業 など	増加
事業領域	多数	増加

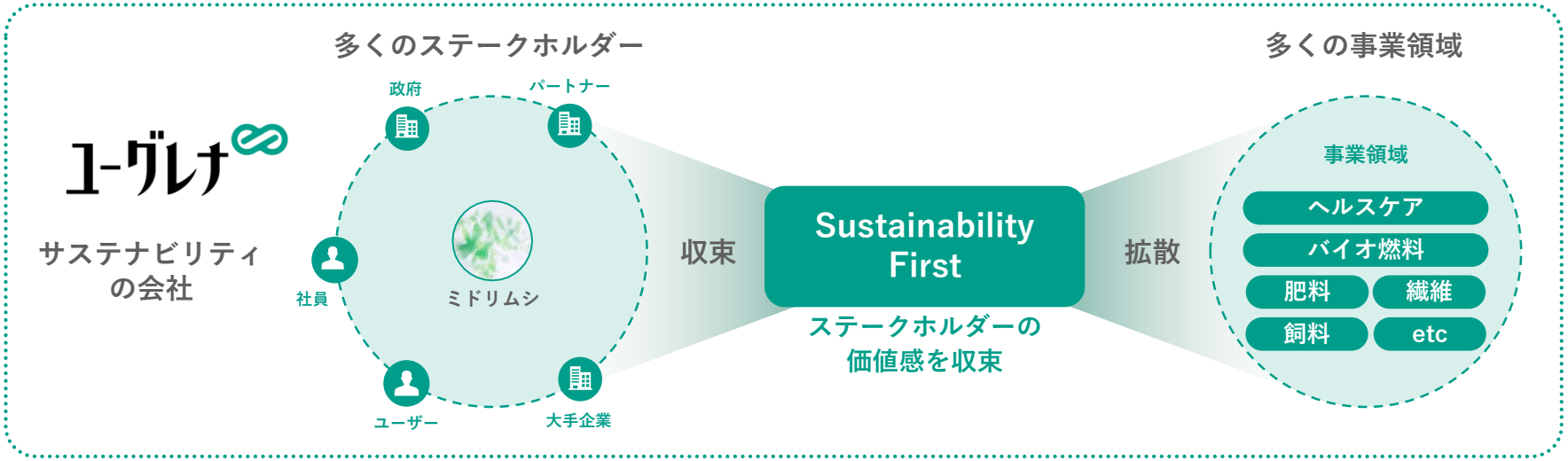
Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

“Sustainability First” を軸に更なる成長を

これまで（ミドリムシの会社）



これから（サステナビリティの会社）



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

3. “Sustainability First”が生む、競争優位性

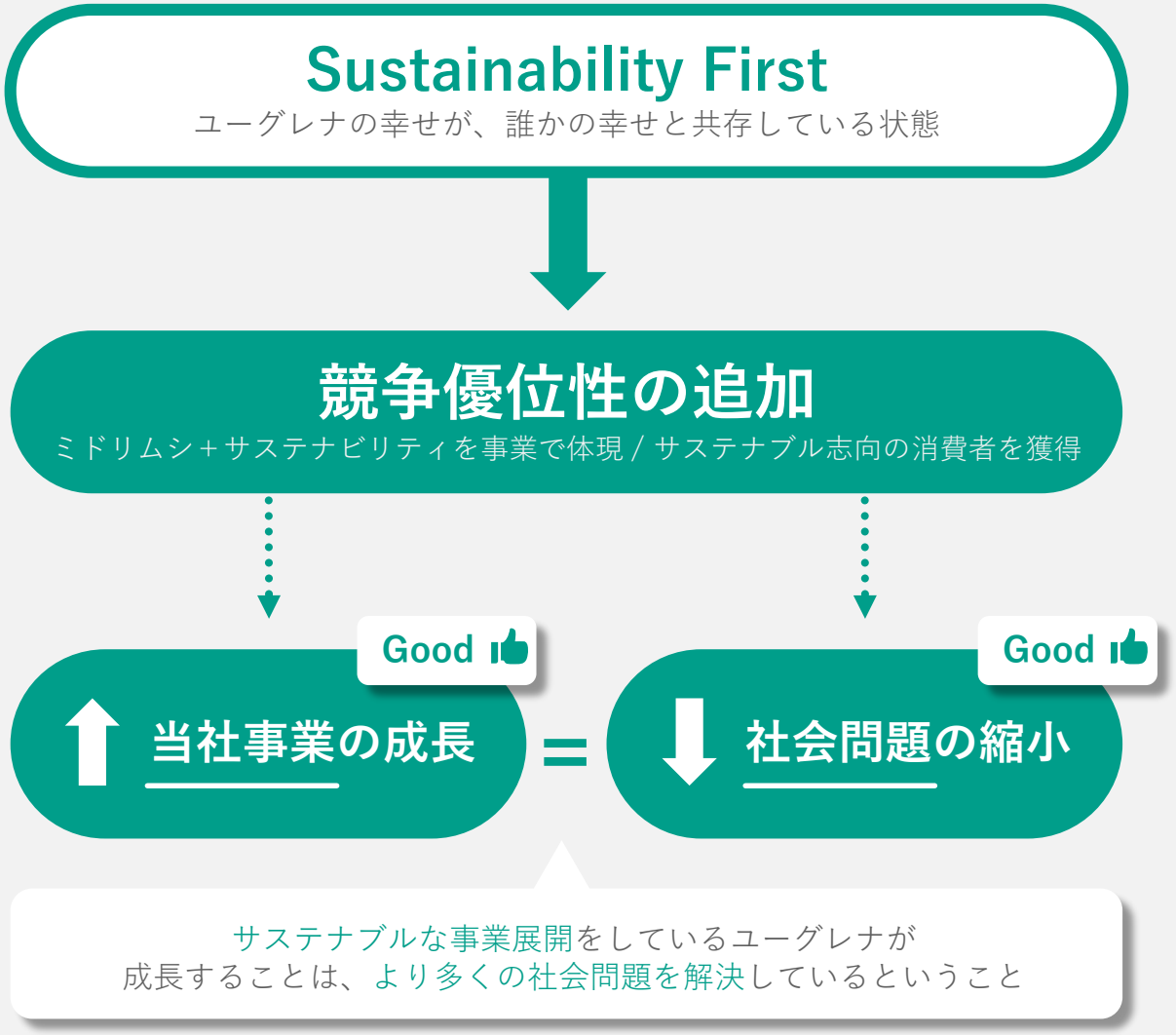
Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

”Sustainability First” は競争優位性

ありたい姿

事業における変化

実現したい結果



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

サステナビリティに関する身近な事例

我々の身の回りでも多くのサステナブルな取り組みが行われている。

1 レジ袋の有料化



地球環境のサステナビリティ

廃棄物や地球温暖化などの
グローバルな課題に対し、
日々の便利なライフスタイルを
見直すきっかけに

2 フェアトレード



地域社会のサステナビリティ

公正な貿易により、
生産者や労働者が貧困から脱却し、
サステナブルな世界を目指すしくみ

3 ウェルビーイング



生活のサステナビリティ

変化の時代に心と体の健康を
維持し、ウェルビーングを
保つためのコツとして、
国連がマインドフルネスを紹介

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

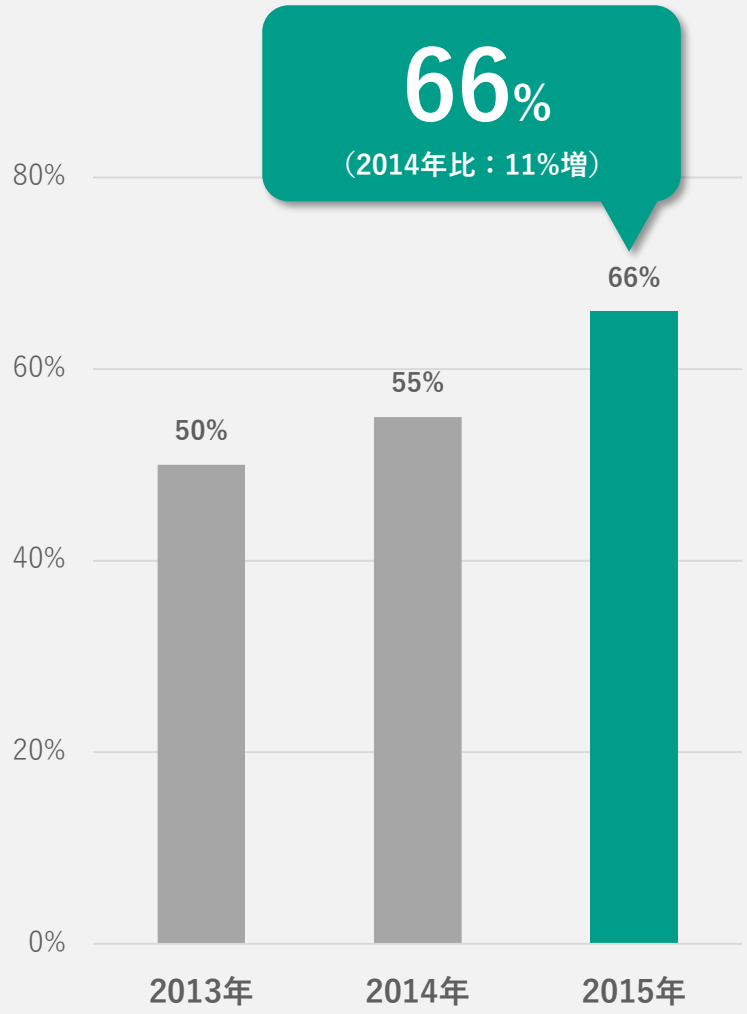
加速するサステナビリティの流れ

World Trend

サステナブルな製品を
好んで買う人は顕著に増加

多少金額が高くても、
環境・健康などに配慮した商品を購入したい

サステナブルな製品には
お金をかけても良いと思う人の割合



出典：ニールセンプレスリリース（ニールセン　ニューヨーク報道発表資料を基に作成）

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

① サステナビリティを重視する企業

昨今、サステナビリティを重視する企業は選ばれる傾向にある。

Patagonia社

売上高

約1,000億円

（毎期成長・2桁台の利益率）

環境配慮　人権配慮　動物配慮

取り組み一例



1%フォー・ザ・プラネット

全売上の1%を、
自然環境の保護、回復のために寄付

オーガニックコットン

化学殺虫剤、除草剤不使用の
地球にも体にも優しい素材提供

トレーサブル・ダウン

水鳥に配慮した羽毛採取と
追跡可能な仕組みの構築

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

② サステナビリティを重視する企業

昨今、サステナビリティを重視する企業は選ばれる傾向にある。

IKEA 社

サステナブルな生活を支える商品の売上高

約2,000億円

（2016年度・イケアジャパンの売上の5割を占める）

気候変動対策

再生可能エネルギー

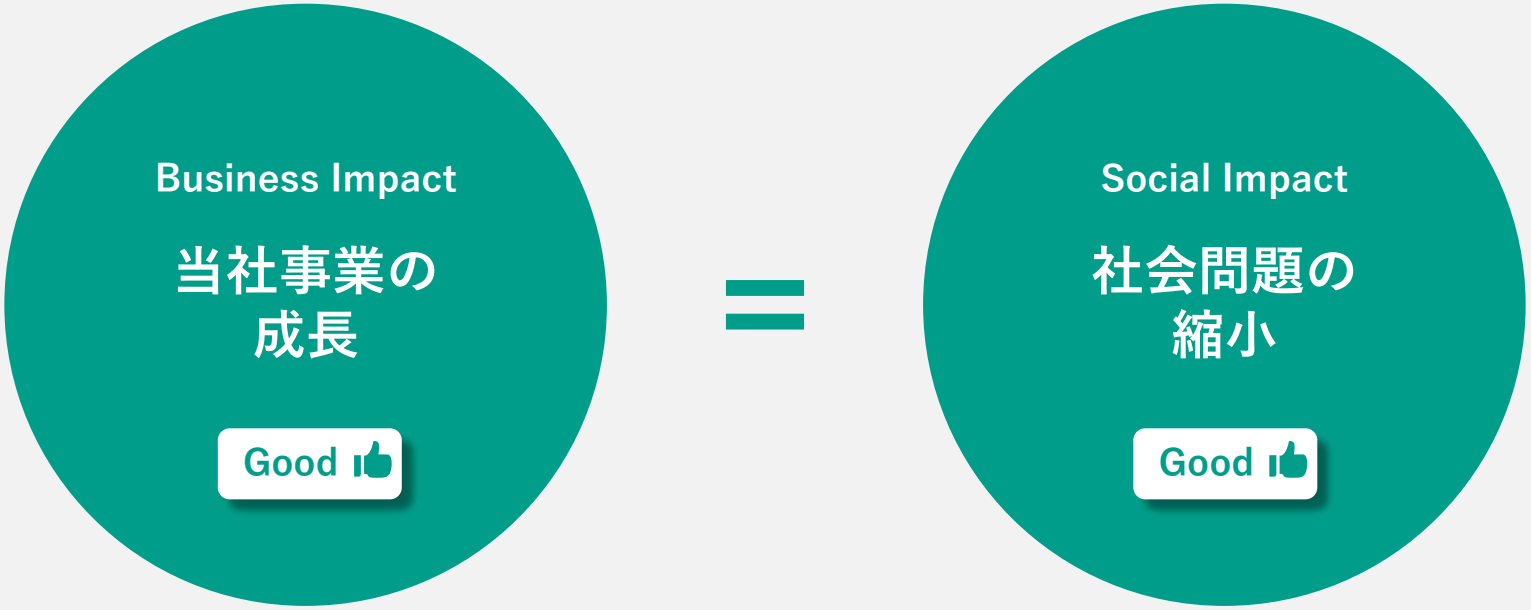


Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

競争優位性が生み出す「事業成長」と「社会問題の縮小」

Sustainability First

ユーグレナグループの仲間全員が
”自分たちの幸せが誰かの幸せと共存し続ける方法”を常に考え、行動している状態

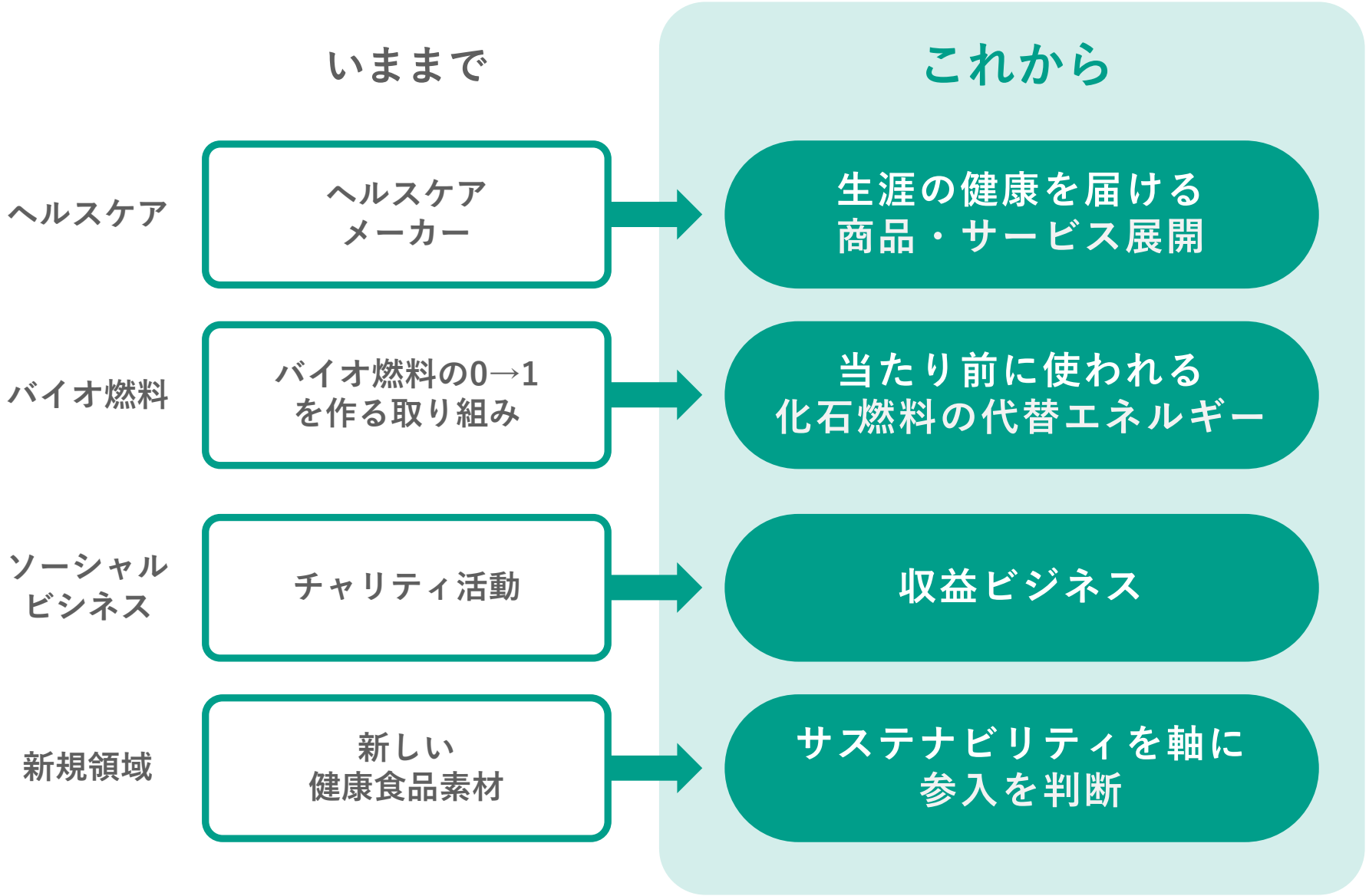


Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

4. 事業の新しい姿

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

サステナビリティを軸に変わるユーグレナ



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

ヘルスケア

”サステナビリティ”の観点

1

生涯続く健康

一時の健康ではなく、生涯続く健康を支援

（例：一時的に元気になる栄養ドリンク vs. 持続的な健康の底上げにつながる食品サプリメント）

2

環境配慮型の商品開発

環境への意識の高さ、低さにかかわらず、当社は消費者が意識せずとも、環境に配慮した行動をとれる状態を目指す

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

ヘルスケア

①生涯続く健康：サステナブルな健康を実現

サステナブルな健康を実現するための商品・サービス開発を目指す。

速攻性のカンフル剤



未来の自分を犠牲にして
今100%力を出す

対極な商品

ベースアップ

サステナブル

生涯の健康を
サポート



明日の健康も
100年後の健康も見据える

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

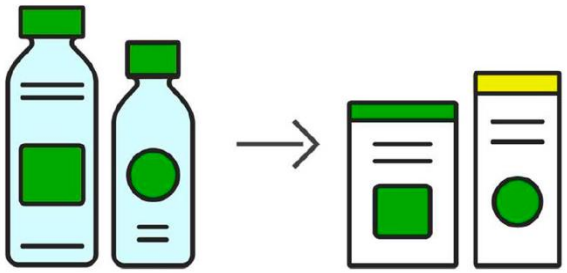
ヘルスケア

②環境配慮型の商品開発：石油由来プラスチックの削減

石油由来プラスチックの削減を目的に、既存の飲料用ペットボトル商品の全廃と、一部商品でお客様がストローの有無を選択可能に。**お客様が意識せずとも、環境に配慮した行動をとれる状態を目指す**

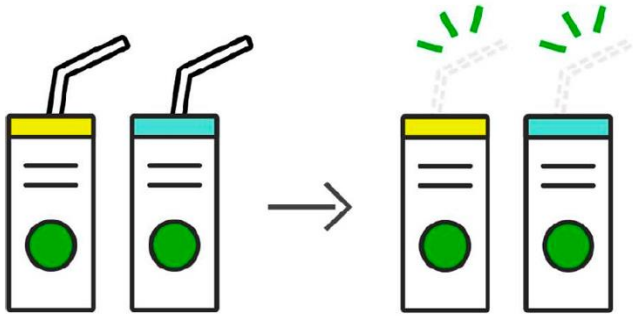
現状展開している飲料用ペットボトル商品を全廃に

一本あたりプラスチック使用量
約94%削減



自社ECで販売する商品において、プラスチックストローの有無が選択可能に

一本あたりプラスチック使用量
約40%削減



出典：当社プレスリリース（https://www.euglena.jp/news/20200629-2/）

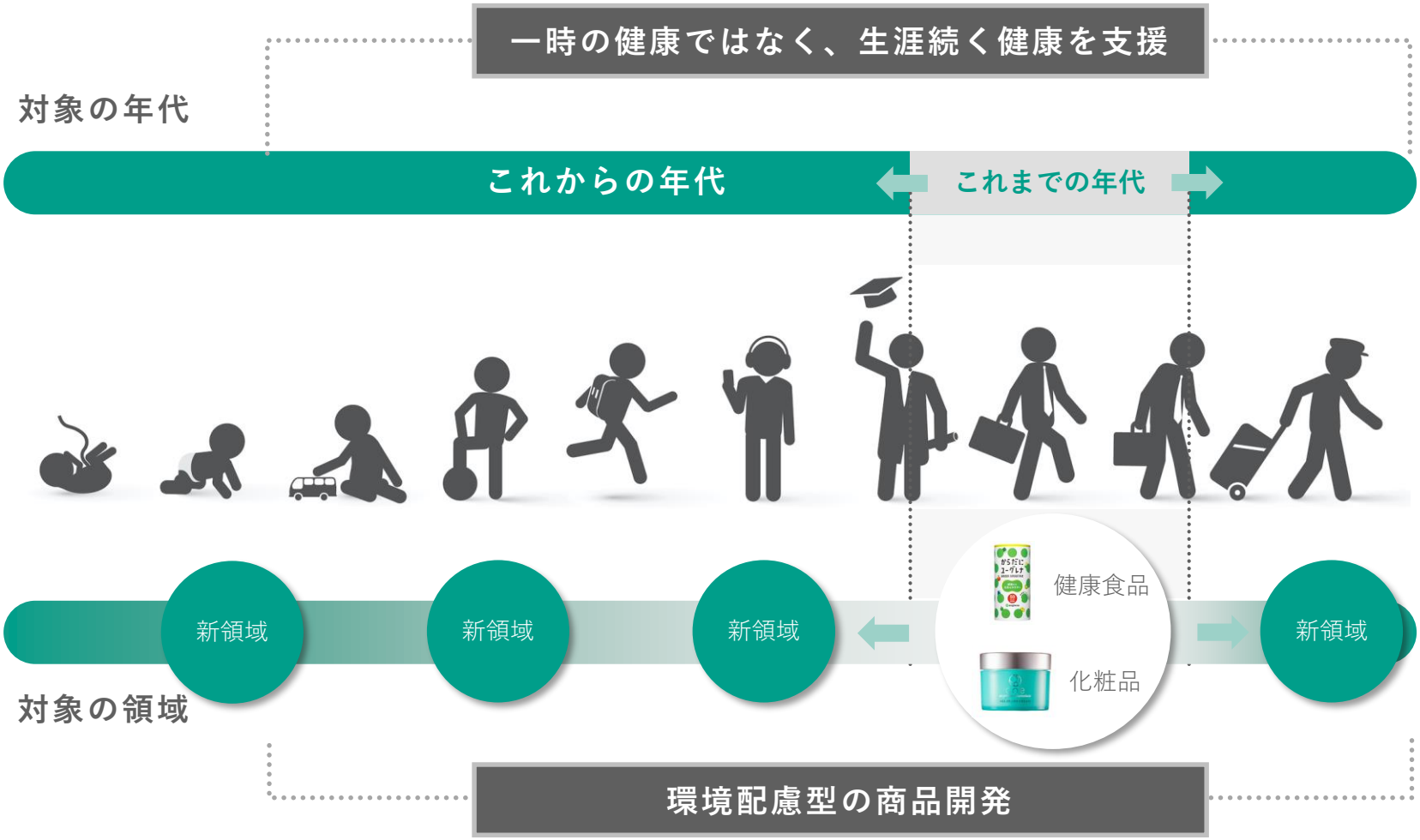
これらの取り組みに留まらず、環境配慮型の商品開発に挑戦し続ける

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

ヘルスケア

”サステナビリティ”を軸にした事業の広がり

サステナビリティを軸に「対象年代・対象領域（商品・サービス）」などを拡大し、
人々がサステナブルな生活を過ごせるようにする。



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

エネルギー

”サステナビリティ”の観点



気候変動に
具体的な対策を

バイオ燃料の利用実績が少ない日本に、
具体的な解決策を提示する

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

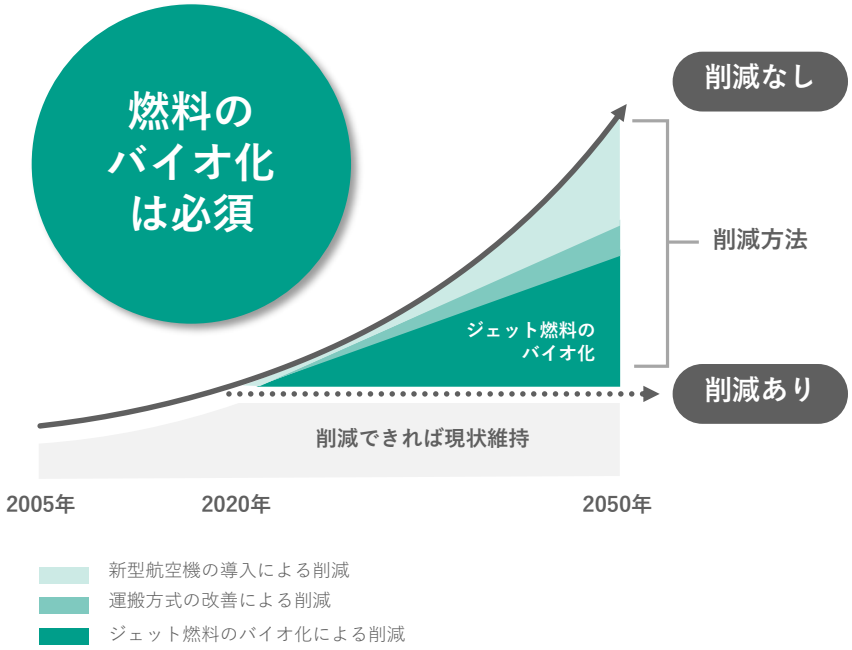
エネルギー

市場の拡大およびニーズ

交通分野の中でも、航空業界の低炭素ニーズは高い。航空需要増が予測される中、CO_2排出量を現状水準に維持するには燃料のバイオ化は必須であり、バイオジェット燃料市場は大きな拡大が予測されている。

国際便から排出されるCO_2排出量の予測イメージ

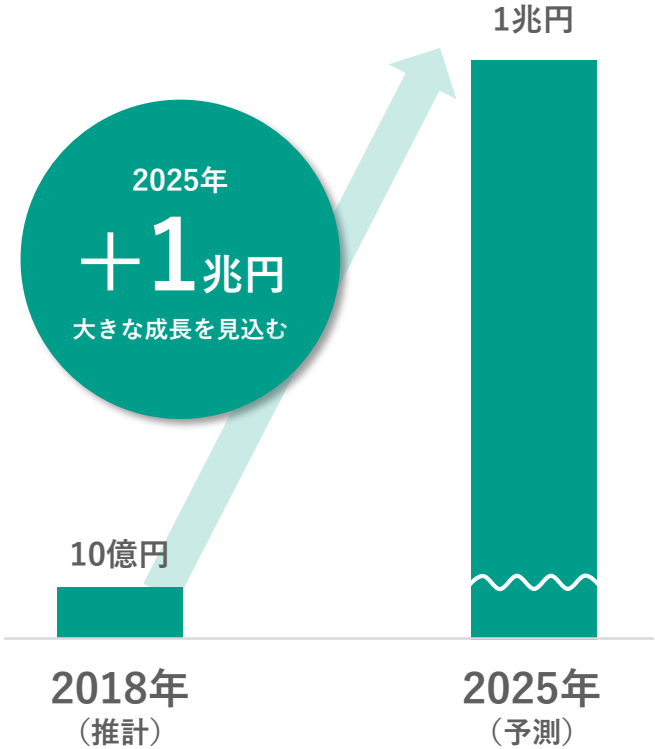
大きな削減には、燃料のバイオ化が必須



出典：ICAO（国際民間航空機関）の資料より当社作成

バイオジェット燃料市場(世界)

市場の拡大が予測されている



出典： ICAO ENVIRONMENT 「Historical production of SAF」、IATA「Sustainable Aviation Fuels Fact Sheet」、Fulcrum社販売価格より当社推計

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

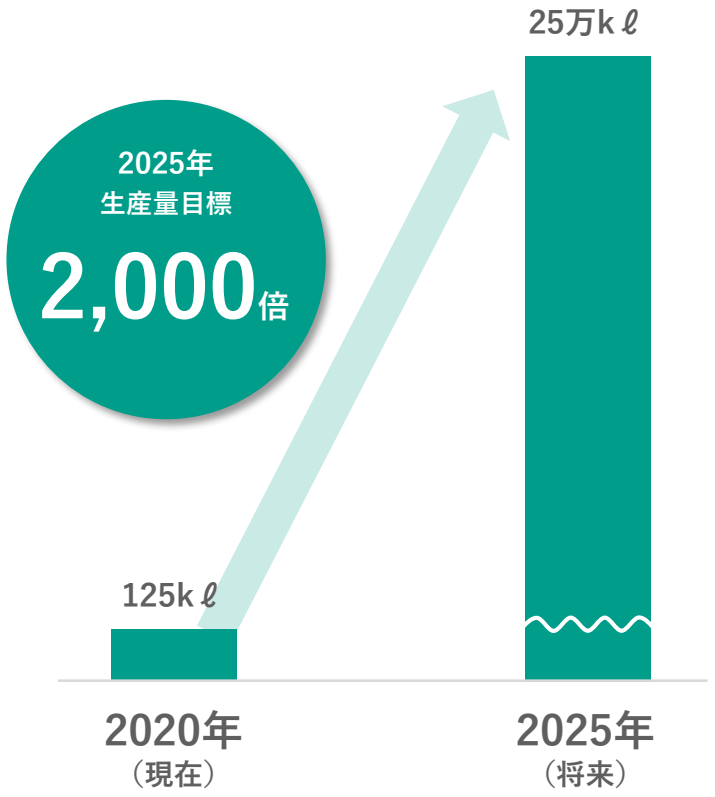
エネルギー

”サステナビリティ”を軸にした事業の広がり

2025年に商業規模のプラントを建設し、バイオ燃料の生産量を2000倍・製造コストを1/100にして、
バイオ燃料が当たり前の世界に。

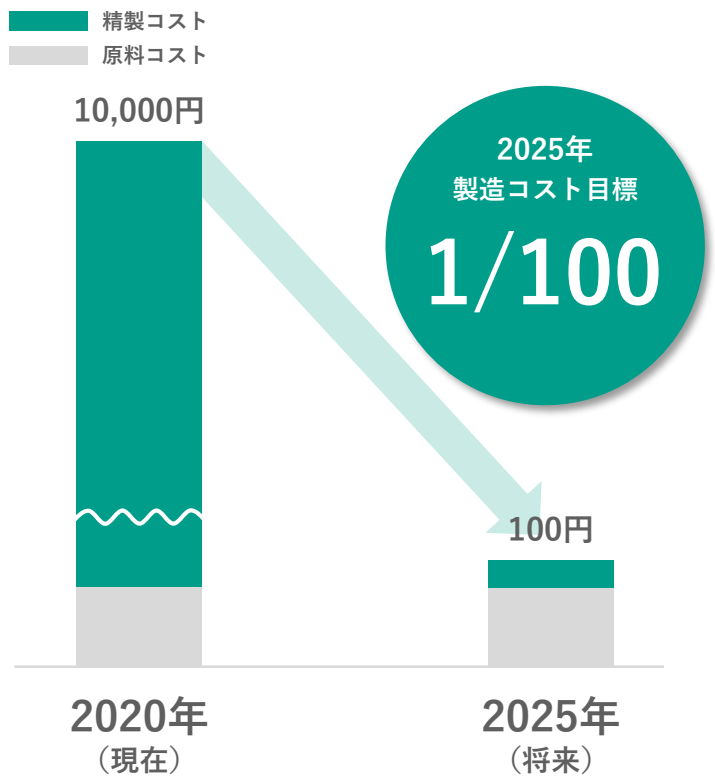
バイオ燃料の生産量目標

**生産量を増やすことで、
皆の手に渡りやすくする**



バイオ燃料の製造コスト目標

**製造コストを下げることで、
皆がバイオ燃料を選び、利用する**



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

ソーシャル
ビジネス

”サステナビリティ”の観点

1

貧困・栄養問題の解決

創業のきっかけの地バングラデシュで、必要十分な栄養を手軽に摂取できる世界の実現

2

持続可能なビジネスの仕組み

寄付による限られた人に対する支援だけでなく、現地に見合う価格で栄養豊富な食品を提供し、より多くの人々が購入可能に

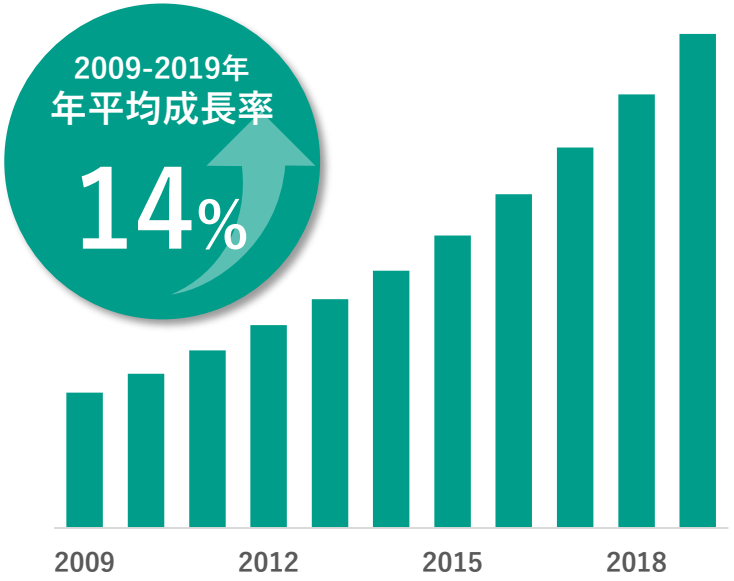
Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.

ソーシャルビジネス

市場の拡大およびニーズ

バングラデシュのGDP成長

経済成長により豊かになった人もいる



出典：IMF「World Economic Outlook Databases」

バングラデシュの貧困人口

依然、貧困や栄養問題は残っている



出典：AMP記事
「アジア最貧国だが最速で成長するバングラデシュ、デジタル変革で世界24位の経済国へ」
※：貧困ライン（生活していくのに必要最低限の収入水準）で生活している人々

**GDPは年々増加しているが、
依然として4人に1人が貧困層として生活している**

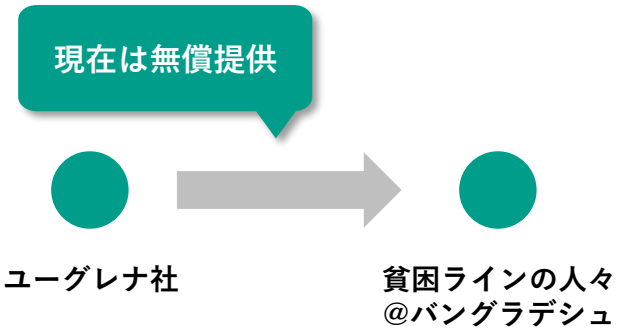
Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

ソーシャル
ビジネス

“サステナビリティ”を軸に拡がるソーシャルビジネス

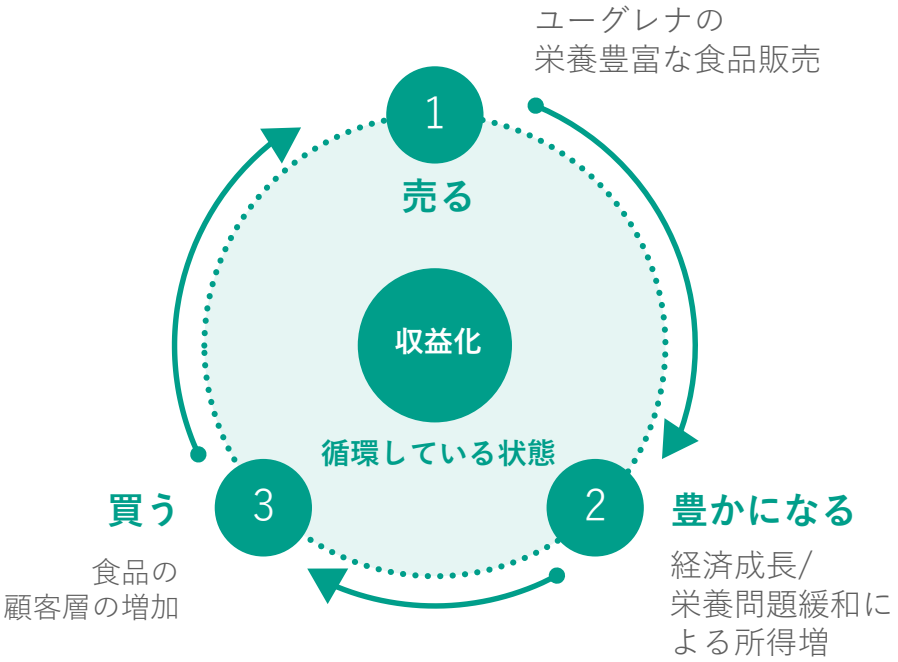
GENKI プロジェクト（寄付モデル）

現在はユーグレナから無償提供



商業化@バングラデシュ（事業モデル）

問題解決を持続可能な状態へ



「持続可能」な状態で、バングラデシュの栄養問題を解決

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

新規領域

過去事例：グループ会社のサステナブルな取り組み

ユーグレナの仲間になったグループ会社は、サステナブルな商品、生産、働き方を実現してきた。

エポラ

当社グループ会社

取り組み

サステナブルな商品

環境配慮型商品へ切替
（紙は全てFSC認証、大容量ボトルによる販売、化粧品原料にて満期胎盤※を使用etc.）

八重山殖産

当社グループ会社

取り組み

サステナブルな生産

環境や社会に配慮した生産方法を実現すべく、世界で初めてASC-MSC 海藻（藻類）認証を取得

ユーグレナ竹富エビ養殖

当社グループ会社

取り組み

サステナブルな働き方

労働安全の観点から、安全設備を強化。安心して働ける労働環境へ

※：自然出産時に採取する胎盤のことで、動物愛護の観点からサステナブルといえる

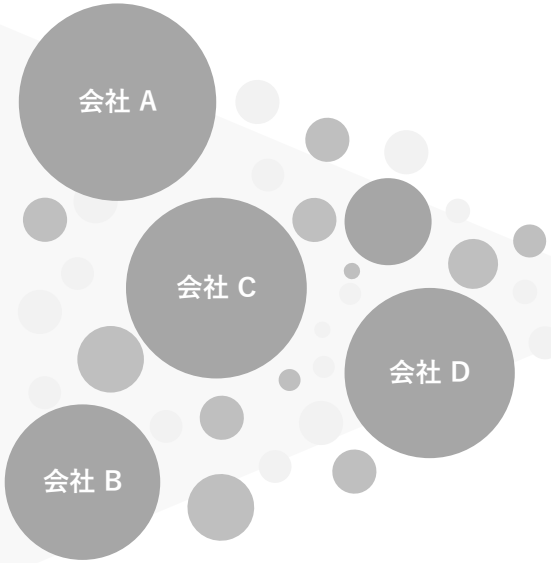
Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

新規領域

今後の方針：ユーグレナがM&Aを行う意味

ユーグレナのオーガニックな成長だけでは、社会変革を進めるうえで、スピード感が足りない。
M&Aで、より多くの会社をユーグレナの仲間に取り込み、サステナブルな会社に変革していく。

積極的に新規領域へ進出し、より多くの企業をサステナブルな会社に変革していく





サステナブルな会社へ

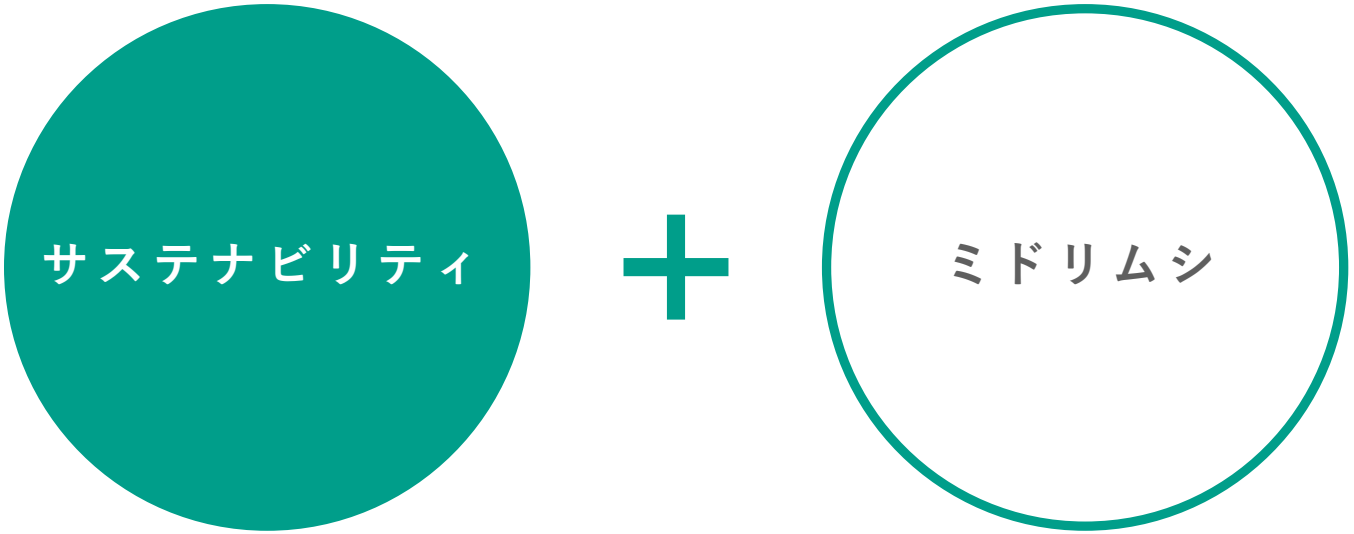
- サステナブルな商品
- サステナブルな生産
- サステナブルな働き方

etc.

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

ユーグレナは次のステージへ

「ミドリムシ」から「サステナビリティ＋ミドリムシ」へ。



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

5. 参考資料（SDGs達成に向けた取り組み等）

Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.



バングラデシュの栄養問題を解決する取り組み

ユーグレナ社創業のきっかけは、社長の出雲が学生時代に訪れたバングラデシュで、栄養不足に悩む子どもたちを目の当たりにしたことでした。「ユーグレナGENKIプログラム」は、グループの商品をお買い上げいただいた売上の一部を協賛金として、バングラデシュの子どもたちに栄養豊富なユーグレナ入りクッキーを無償で配布いたします。より多くの人に充分な栄養素を届け、すべての人の幸せをお手伝いしたい。その理念のもと、未来を担う子どもたちが、健康に暮らせるその日が訪れるまで。私たちは活動を続けます。



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.



生涯の健康を見据えた
地球にやさしい商品・サービス

栄養バランスに富んだ自然由来のスーパーフード、ユーグレナ。
その豊富な栄養を使った食品やお肌への有用分を生かした化粧品、そして最新のバイオテクノロジーを通してあなたと大切な人の、生涯の健康をサポートします。
私たちは、機能性の追求によりお客さまからの信頼を獲得し、環境配慮型商品の開発により、お客さまが意識せずとも環境に配慮した状態になることを目指します。



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.



CO_2排出問題を解決する バイオ燃料を開発

刻々と進む地球温暖化。今を生きる私たちは、子どもやその先の世代にどのような地球環境を残せるでしょうか。今地球温暖化に立ち向かわないということは、子どもたちの未来を奪うことにつながります。私たちは、2020年までにバイオ燃料を陸・海・空における移動体に導入し、2025年までにバイオ燃料の商業生産体制を構築する計画を進めています。子どもたちの未来を守るために、バイオ燃料を製造・使用するサポーターを日本中に広げる、それが私たちの目標です。



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

株式会社ユーグレナの概要

基礎情報

会社名	株式会社ユーグレナ｜euglena Co.,Ltd.
代表者	代表取締役社長 出雲 充 ｜ Mitsuru Izumo
創業	2005年8月9日
資本金	73億1,814万円（2020年3月末時点）
所在地	本社：〒108-0014 東京都港区芝5-29-11 G-BASE 田町
従業員数	454名（2019年9月末時点、連結）
役員	代表取締役社長 ：出雲 充 取締役副社長 ：永田 暁彦 取締役（社外取締役） ：琴坂 将広 取締役（社外取締役） ：岡島 悦子 取締役監査等委員 ：多喜 良夫 取締役監査等委員（社外取締役） ：木村 忠昭 取締役監査等委員（社外取締役） ：清水 誠
事業内容	1.ユーグレナ等の微細藻類の研究開発、生産 2.ユーグレナ等の微細藻類の食品、化粧品の製造、販売 3.ユーグレナ等の微細藻類のバイオ燃料技術開発、環境関連技術開発 4.バイオテクノロジー関連ビジネスの事業開発、投資等

全国拠点



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

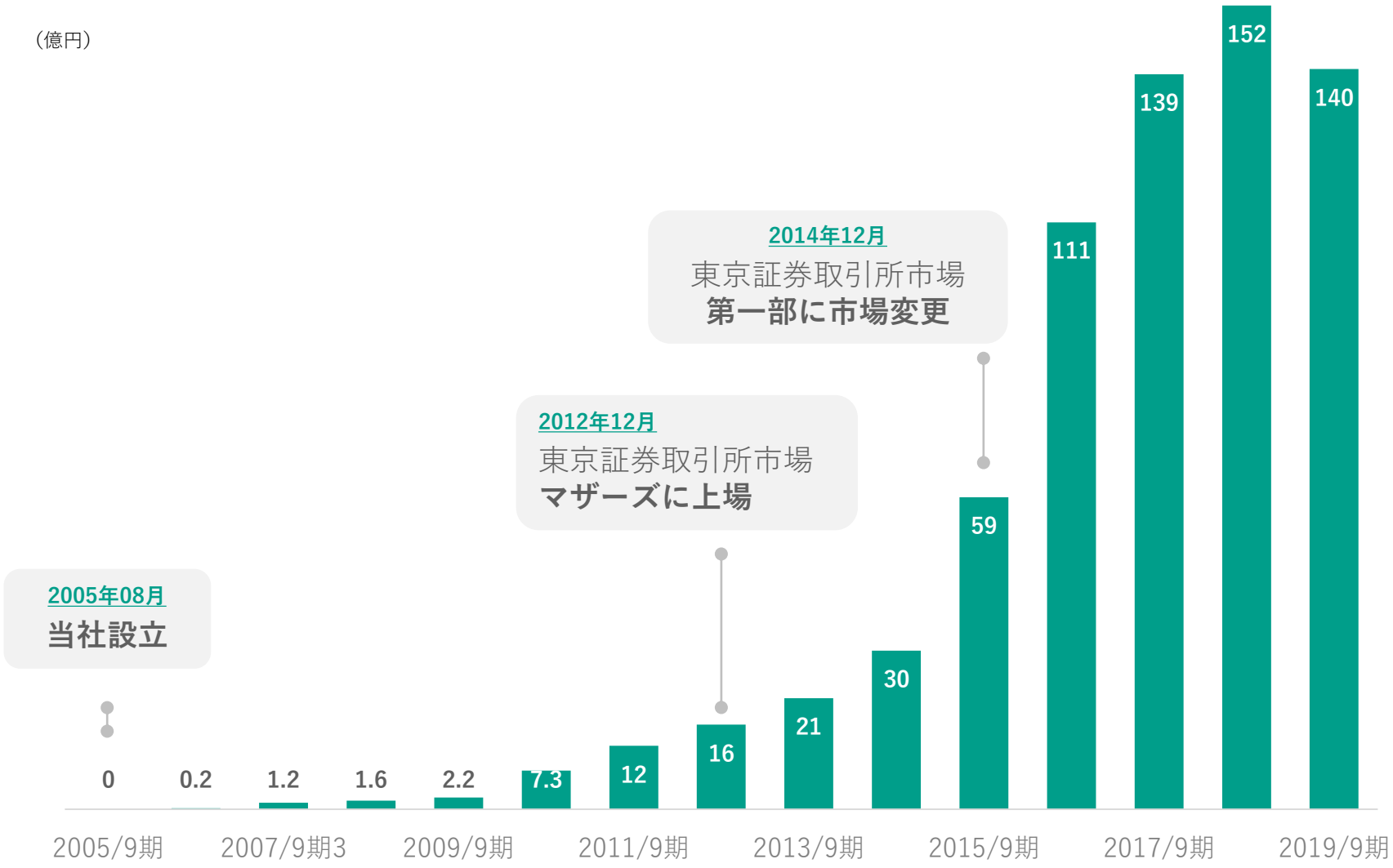
沿革

2005年08月	当社設立
2005年12月	世界で初めて微細藻類ユーグレナの食用屋外大量培養に成功
2008年05月	伊藤忠商事と資本提携
2009年11月	「ミドリムシクッキー」を日本科学未来館で販売開始
2010年05月	ユーグレナからのバイオジェット燃料製造に関する共同開発を新日石、日立プラントテクノロジーと開始
2012年04月	未来農業「ユーグレナ・ファーム」を展開　※直販事業のはじまり
2012年12月	東京証券取引所市場マザーズに上場
2013年10月	バングラデシュ共和国に初の海外拠点となる事務所開設
2014年04月	ユーグレナGENKIプログラム開始
2014年06月	DeuSELプロジェクト始動
2014年12月	東京証券取引所市場第一部に市場変更
2015年06月	バイオ燃料製造設備に向けた契約をChevron Lummus Global LLCと締結
2015年12月	国産バイオ燃料計画を発表
2018年10月	バイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント竣工
2019年10月	初代　最高未来責任者(Chief Future Officer：CFO)の選定
2020年01月	国際規格ASTMの新規格を取得
2020年08月	創業15周年を迎え、CI（コーポレート・アイデンティティ）刷新

Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

創業期から現在までの売上高推移

2012/9期のマザーズ上場時の売上高から7年で約10倍の成長を実現。



Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.



Copyright © **euglena Co.,Ltd.** All rights reserved.